

第1回ファッション・デザイン分野有識者会議

開催日：平成28年12月3日(土)

有識者：長崎 巖氏(共立女子大学 教授)、樋口 一貴氏(十文字学園女子大学 准教授)、
澤田 和人氏(国立歴史民俗博物館 准教授)

1. 報告内容

- ・服飾資料所蔵施設への訪問調査
- ・未発掘資料の調査
- ・ヨーロッパナ勉強会
- ・限定公開の横断的デジタルアーカイブ（案）

2. 限定公開の横断的デジタルアーカイブ（案）について有識者からの助言

- ・システムのネットワーク作りも大事であるが、それ以上に人的ネットワーク作りが重要である。
- ・学芸員の負担は極力少なく、しかし利便性の高いものを作り上げることが理想。
- ・参加博物館・美術館、学芸員のメリットを如何に提示できるかがポイントとなる。（限定公開の横断的デジタルアーカイブによって、認知度の高くない資料を知ることができるのは、学芸員にとってメリットになる。）
- ・限定公開から始めて、明らかになった問題を解決しながら一般公開へという道筋は現実的で良い。